



Cloud Operator Days Tokyo 2024

運用者に光を!～AIの未来、運用者の現実～



開催のご案内

Cloud Operator Days Tokyo 2024 実行委員会 ver. 2024.04.05

<https://cloudopsdays.com/>

運用者に光を!～AIの未来、運用者の現実～

「運用者に光を!～AIの未来、運用者の現実～」をメインテーマに、**運用者が日々取り組んでいる新しい挑戦、成功・失敗体験、得られたノウハウなどを分かち合いたいと思います。実運用における体験談の共有をお願いいたします。**

AIの未来は無限の可能性に満ちており、技術の進化によってクラウド運用のあり方が大きく変わることが期待されています。しかし、その一方で、実際にクラウド運用者の現実は限られている人的リソースで複雑なインフラストラクチャを管理しながら運用の自動化とスケーラビリティ、セキュリティとコンプライアンスなどの多くの課題に直面しています。AI技術の進化とクラウド運用の現場がどのように相互作用し合うか探ります。

・以下の様なトラックを考えておりますが、これに限らずイベント趣旨に沿った運用関連の内容であれば幅広くご応募いただけます。

- AIOps
- 運用苦労話(しくじり、トラシュー)
- 自動化(Dev/Ops, CI/CD, IaC)
- チームづくり・人材育成
- OpenStack
- 監視・ログ・オブザーバビリティ
- パブリッククラウド運用(AWS, Azure, GCPなど)

<Cloud Operator Days Tokyoについて>

クラウドの運用者に焦点を当てた技術者向けの新しいテックイベントです。クラウドの運用者とは、クラウド基盤(IaaS、PaaS、CaaS、FaaS)を運用しているインフラエンジニアの方だけではなく、クラウド基盤上でアプリケーションを作成し、運用している人も含みます。オペレーションに関わる技術や悩み、解決策を発表、共有していくことで運用技術の発展やインフラ、アプリケーション運用に興味がある若手の教育、育成ができるイベントとして発展させていきたいと考えております。

昨年の第4回は50以上のオンラインセッション、及びワンデーライブイベントを行い、1,000名以上の皆様にご参加いただきました。

<https://cloudopsdays.com/archive/2023/>

今年も開催はオンデマンドでのセッション配信、及びオンサイトでのクロージングイベント(オフライン開催)を計画しております。

開催趣旨

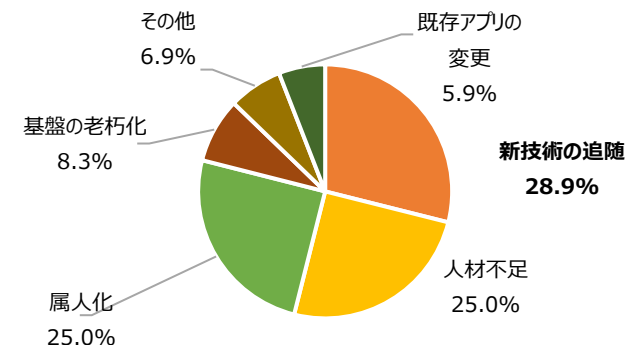
なぜ今「運用技術者」にスポットを当ててるのか？

クラウド基盤をシステムの構築と運用は表裏一体と言えますが、新技術や先端の事例を紹介することが多い技術記事や書籍、ドキュメント、そして技術イベント等で主に取り上げるテーマは、新しいエンジニアを取り込むという意味からも、どうしても構築寄りとなるのは仕方がないことでしょう。一方、エンタープライズITシステムの“一生”を考えると、そのライフタイムのほとんどは「運用」で占められます。本来なら、運用にまつわるノウハウこそ、多くのエンジニアが知りたい情報であることは明白でしょう。

そして、エンタープライズ分野においては、日々の安定動作はもちろん、不具合修正からインシデント対応、各種メンテナンスまで、運用技術者の手がける内容は多岐にわたります。これに個別のシステムの特異な事情が絡むことも多いため、ノウハウを外部と共有しにくく、また情報を出したくても外部の人にわかる形で情報を形にできないというジレンマがあります。そしてこうした「外からのわかりにくさ」は、運用者の業務評価の難しさにつながっています。また、失敗談や地味な苦労話を出す必要もあることから、事例を外部に晒すのは恥ずかしいといった心理も働くようです。

残念ながら、この状況をなんとかするための起死回生の一手なんてものは、そう都合良くは見つかりません。できることがあるとすれば、とにかく現場の状況をできるだけオープンに語り、語りかける場をより多く用意することに尽きるのではないのでしょうか？ オープンソースの開発と同様に、クラウド運用現場の「泥くさい」ノウハウをオープンにしていくことが、より多くのエンジニアが共に成長するための、実は近道になるのではないかと、そのためにはオープンソースの開発と同じやり方で、ソースコードの代わりに運用のノウハウをオープンにしていく活動が効果的であろうという目論見があります。

運用の課題を教えてください(複数選択可)
CODT2023視聴者アンケートより



連載

”運用者に光を”「Cloud Operator Days Tokyo 2021」の歩き方
<https://gihyo.jp/admin/serial/01/codt2021/>

開催概要

名称: Cloud Operator Days Tokyo 2024

テーマ: 運用者に光を!～AIの未来、運用者の現実～

主催: Cloud Operator Days Tokyo 2024 実行委員会

参加費: 無料(事前登録制)

視聴者数目標: 2,000名



2023年9月14日 クロージングイベントのキーノート
「モダン開発における AIOpsの重要な役割:ぐるなびが目指す効率的な運用戦略」
に登壇した 岩本 俊明氏(株式会社ぐるなび CTO)

日程(開催形態):

- ・2024年7月10日より開始 オンデマンド配信 (約60セッション | CFS/スポンサー/主催者企画セッション)
- ・2024年9月6日 締めくくりの1日イベント (クロージングイベント | 輝けクラウドオペレーターアワード表彰式)

主催団体

Cloud Operator Days Tokyo 2024 実行委員会

委員長：長谷川 章博（AXLBIT株式会社）



委員：

井田 紗希子（New Relic株式会社）

岩本 隆史（ENECHANGE株式会社）

岩本 俊明（株式会社ぐるなび）

大澤 優貴（フォージビジョン株式会社）

工藤 雄大（株式会社日立ソリューションズ）

五味 健太（東日本電信電話株式会社）

坂齊 史奈子（株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー）

島津 直道（株式会社デンソー）

田口 裕真（東日本電信電話株式会社）

高嶋 秀輝（NTTアドバンステクノロジー株式会社）

豊岡 大地（株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー）

冨田 進（株式会社デンソー）

成迫 剛志（株式会社デンソー）

野山 瑛哲（エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社）

福岡 佳菜子（New Relic株式会社）

古川 勇志郎（LINE株式会社）

水野 伸太郎（日本電信電話株式会社）

山下 祐生（レッドハット株式会社）

梶谷 花世（Chatwork株式会社）

開催実績

	CODT2020 「クラウド運用のリアルに迫る」	CODT2021 「運用者に光を」
事前登録者数	1,422名	1,908名
視聴者数	1,387名（疑似ライブ配信視聴）	1,821名（オンデマンド配信期間視聴） 408名（8/27 輝けクラウドオペレーターアワード表彰式視聴）
セッション数	43セッション	54セッション
スポンサー数	13社	19社
メイントラック	アプリケーション開発 トラブルシューティング ラージスケール運用 OpenStack 組織論	大規模システム運用 社内基盤(情シス、開発環境) 運用自動化(Dev/Ops、CI/CD) 運用苦労話(しくじり、トラシュー) Cloud Native Telecom Operator Meetup (CNTOM)
人気コンテンツ	<ul style="list-style-type: none">・楽天モバイル「完全仮想化の裏側」・KDDI流の「アジャイル開発」の取り組みと事例・Yahoo! JAPANの月800億ページビューを支えるIaaS基盤の舞台裏・最近あまり聞かなくなかったNFVの話・しくじり先生 on AWS・クラウドインフラ トラブルシュートのすゝめ・Infrastructure as Code の静的テスト戦略	<ul style="list-style-type: none">・SREのはじめ方NTTドコモ サービスデザイン部”RAFTEL”が実践するサービスレベルの計測と可視化・超PayPay祭による高負荷にショッピングはどのように立ち向かったか・新入社員が9ヶ月でクラウド運用の自動化システムを作ってみた・NFVでクラウドネイティブに変わる電話会社の運用(KDDI編)・これからはじめるKubernetes運用 - OpenShift の存在意義 -・Yahoo! JAPANのIaaSを支えるKubernetesクラスタのアップデート苦労話
開催報告書	https://cloudopsdays.com/wp-content/uploads/2020/09/CODT2020_report.pdf	https://cloudopsdays.com/wp-content/uploads/2021/09/CODT2021_report_final.pdf

開催実績

	CODT2022 「運用者に光を！～変革への挑戦～」		CODT2023 「Unplugged」 2023.02.14
事前登録者数	2,039名	事前登録者数	144名
視聴者数	1,846名（オンデマンド配信期間視聴者） 501名（7/27 輝けクラウドオペレーターアワード表彰式視聴）	当日参加	96名(完全オフライン)
セッション数	71セッション	開催趣旨	完全オフライン運用エンジニア座談会開催。従来のカンファレンスと異なる、フィッシュボール形式でエンジニアの生の声をディスカッション。登壇者がGiveするだけではなく、議論を通じてTakeすることで互いに情報を深める絶好の機会！Unpluggedの名前通り、配信などは一切行わないから話せる現場トーク。その場にいる人しか味わえない話がここで！
スポンサー数	24社	セッション内容	大規模基盤でいま起こっている障害、そして戦い方 運用人事系(内製vs委託、採用、リスクリング デプロイ(アジャイルLean・CI/CD、ライフサイクル) 監視・ログ(ツール、コストなど) 技術獲得戦略(決裁、判断プロセス) ベアメタル(要る要らない、結局どうなの) リモートxトラシュー(ツール、連絡体制など) アジャイル・チーム(運用のチーム、運用のアジャイル) 最新技術座談会(最近入れたネタ、いい話、だめな話
メイントラック	大規模システム運用 運用苦労話(しくじり、トラシュー) 運用自動化(Dev/Ops、CI/CD) 社内基盤(情シス、開発環境) サービス・アプリケーション運用 製品・技術トレンド Cloud CoE	議事メモ	https://etherpad.opendev.org/p/JP-CODT-2023-Unplugged
人気コンテンツ	・OpenStack NFV基盤のバージョンアップと運用改善を内製対応した話(KDDI編) ・クレジットカード会社のGameday、あるいはKubernetesに”Gremlin”を解き放った話 ・Yahoo! JAPAN プライベートクラウドにおける事故防止の取り組みの変遷 ・効果的なアラートを再考する [メモリ使用率が80%になりました。] んで、どうすればいいん？ ・国内最大級のコンテナ型データセンタをイチから作ってみた～クラウドの先にあるモノ～		
開催報告書	https://cloudopsdays.com/wp-content/uploads/2022/09/CODT2022-report-final.pdf		

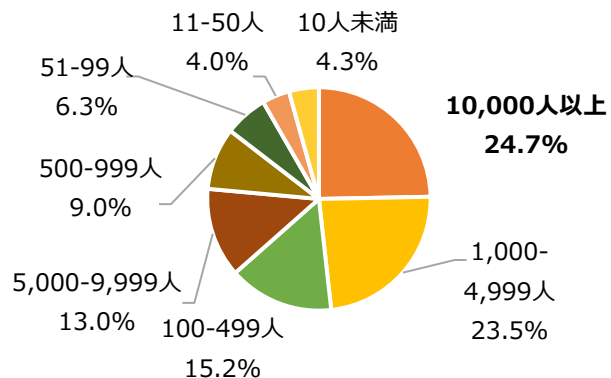
開催実績

	CODT2023 「運用の新時代 ~Effortless Operation~」
視聴登録者数	879名
現地来場者数	111名 (9/14クロージングイベント)
セッション数	53セッション
スポンサー数	14社
メイントラック	AIOps 運用苦労話(しくじり、トラシュー) 運用自動化(Dev/Ops、CI/CD) コスト管理 – Cost OpenStack 監視・ログ・オブザーバビリティ パブリッククラウド運用(AWS, Azure, GCP など)
人気コンテンツ	・～業界初 Generative AI オブザーバビリティ・アシスタント登場～ 次世代 AIOps による運用業務の変革 ・内製開発のすゝめ ～NTT 東日本が取り組んだクラウド内製化開発の歩みと、社外展開の壁、持続可能な開発体制～ ・「運用の標準化」、「運用要員の共有化」、「運用の統制」を実現する運用統合プラットフォームのご紹介 ・クラウド時代に求められるシステム運用とは？ ～変化する環境に適したインシデント管理とセキュリティ運用～
開催報告書	https://cloudopsdays.com/wp-content/uploads/2024/02/CODT2023_report_final.pdf

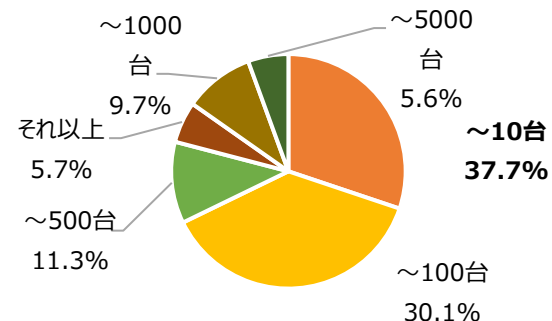
参加対象者

インフラエンジニア 約60% | ソフトウェア開発エンジニア 約20%
マネージャー、グループリーダー、その他技術職 約20%

所属する企業の従業員数を選択してください

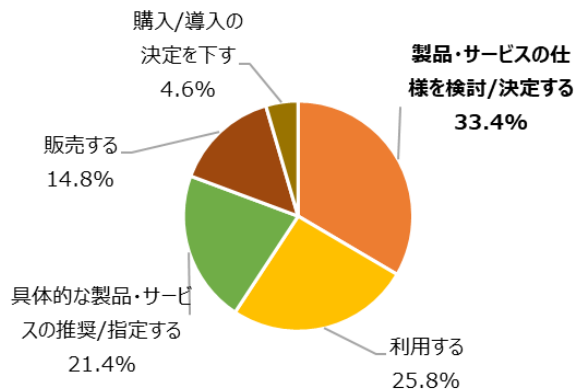


現在のプロジェクトで運用中のクラウドの規模(ノード数)を選択してください

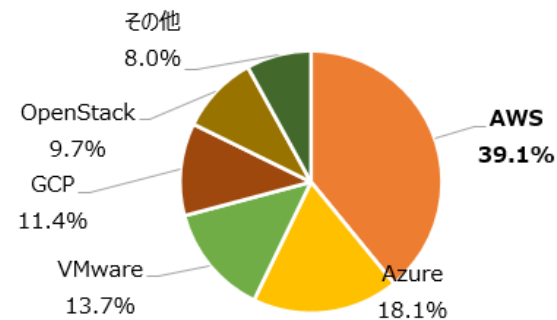


2023年視聴者アンケートより

ご自身の関与度で最も近いものを選択してください



運用/利用しているクラウド基盤を選択してください(複数選択可)



企画内容

3月-5月 **Call for Speakers (CFS)**
- クラウド運用者の実体験をテーマにして公募
スピーカー申込一次締切 (5月10日)

Call for Sponsors (協賛募集)
スポンサー申込一次締切 (5月31日)

6月-7月 **プログラム構成**
- 6月上旬 CFS 一次選考結果通知
- 6月下旬 5分のセッション動画撮影/提出
- 7月下旬 クロージングイベント登壇選考通知

オンデマンド配信期間

- 7月10日(予定)よりオンデマンド配信開始
(2週間の選考期間、公開は9月6日クロージングまで)
- 約60セッション同時配信
(CFS/主催企画/スポンサー)



9月6日 **締めくくりの1日クロージングイベント**
docomo R&D OPEN LAB ODAIBA

- 完全オフライン開催
- 基調講演、パネルディスカッション
- 優れたオンデマンドセッションを表彰する
「輝け！クラウドオペレーターアワード表彰式」
- スポンサー展示/講演セッション
- 懇親会



① オンデマンドセッション動画配信

7月10日から(2週間の選考期間、公開はクローリングまで)オンデマンド配信期間中、約60セッション動画を同時配信します。
(CFS採択セッション/主催者企画セッション/スポンサーセッション)

セッション動画視聴サイト

(テーマ、タグ別検索可；視聴者トラッキングデータ提供)

セッション動画例

～業界初Generative AI オブザーバビリティ・アシスタント登場～次世代AIOpsによる運用業務の変革

New Relic 株式会社 清水 毅

AIOpsを導入したけど使いこなせない、大量のアラートが発報されて逆に辛い運用になっているということはありませんか？運用を改善するためのNew Relicのオブザーバビリティのその先へ業界初Generative AI オブザーバビリティアシスタントがシステムの問題と原因の特定から改修までをサポートします。運用からAIOpsの発達の背景からオブザーバビリティが実現するAIOpsと次世代AIOpsについてご紹介します。

2024年7月10日配信開始(予定)

オンデマンドセッション動画配信 (2週間の選考期間、公開は9月6日のクローリングまで)

② クロージングイベント（完全オフライン開催）

オンデマンド配信期間終了後、2024年9月6日にCODT2024の締めくくりとして1日のオフラインイベントを行われる予定。著名なグローバルゲストによる基調講演、オペレーターのパネルセッション、そしてオンデマンドで配信された各セッションの中から優れたセッションを表彰する「輝け！クラウドオペレーターアワード」授賞式が開催されます。

名称:	Cloud Operator Days Tokyo 2024 Closing Event
会期:	2024年9月6日(金);1日開催
会場:	docomo R&D OPEN LAB ODAIBA
開催形態:	完全オフライン
参加費:	無料(事前登録制)
構成内容:	キーノート、パネルディスカッション、スポンサー展示、OPS Meetup
来場者数目標:	300名



2024年9月6日(金) 完全オフライン
docomo R&D OPEN LAB ODAIBA

③ 輝けクラウドオペレーターアワード

オンデマンド配信期間中、各セッションアンケートで視聴者にアワード対象セッションの推薦を受け、審査委員会にて受賞セッションを決定いたします。2024年9月6日の1日オフラインクロージングイベントにて優れたセッションを表彰する「輝け！クラウドオペレーターアワード」授賞式が発表されます。

「輝け！クラウドオペレーターアワード2023」授賞式の様子



受賞者の声

Jayoung Oh(ジャヨン・オ), Rakuten Mobile

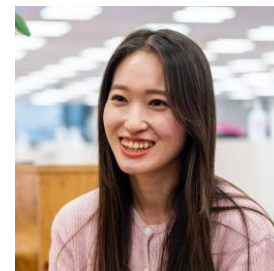
このような賞を受賞できて光栄です。今まで社外でプレゼンテーションをした経験はありませんでしたが、今回、機会をいただいたので、新しいチャレンジをしてみようと思い、現在行っているクラウドプラットフォーム運用の自動化について発表しました。発表の準備段階からチームのメンバーに支援いただいたことで「ヤングオペレーター賞」を受賞できました。チームの皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです！

2021年12月23日

楽天モバイルのエンジニアが「Cloud Operator Days Tokyo 2021」で「ヤングオペレーター賞」を受賞！

クラウドプラットフォームの開発プロセスを自動化する施策を発表しました

https://corp.mobile.rakuten.co.jp/blog/2021/1223_01/



2024年9月6日(金) 完全オフライン
docomo R&D OPEN LAB ODAIBA

docomo R&D OPEN LAB ODAIBA

2024年9月6日のクロージングイベントの会場となる「docomo R&D OPEN LAB ODAIBA」。当日は、4つの会場にてKeynoteやCFS採択者Session、OPS Meetup Sessionを実施します。またイベント終了後には、メイン会場にて懇親会も開催します。



2024年9月6日(金) 完全オンライン
docomo R&D OPEN LAB ODAIBA

<https://docomo-openlab.jp/>

スポンサーレベルとベネフィット

	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー
協賛金額（消費税別）	2,000,000円	800,000円	300,000円	150,000円
過去のOSDT・CODTのスポンサー企業に上記の協賛金額に対して10%の割引を提供します				
1. リードデータ （事前登録者データ）	○（全件 2,000件想定）	○（御社への情報提供に許諾 いただく登録者に限定 100 -200件想定）	○（御社への情報提供に 許諾いただく登録者に限 定 100-200件想定）	—
2. 講演セッション枠 ① ONDEMAND （持込動画） 7月10日からオンデマンド配信開始	○15分 x 1 セッション （視聴トラッキングデータ 提供）	○15分 x 1 セッション （視聴トラッキングデータ提 供）	○15分（1 セッション） （視聴トラッキングデータ 提供）	—
3. 講演セッション枠 ② CLOSING 9月6日クロージングイベント会場にて	○30分 x 1 セッション ○10分キーノート枠	○15分 x 1 セッション	—	—
4. リアル展示ブース 9月6日クロージングイベント会場にて	○ブース展示	○ブース展示	○パネル展示	—
5. CM動画 （持込動画） 9月中旬クロージングイベント会場にて	1分 の動画コンテンツを ご提供ください	30秒 の動画コンテンツを ご提供ください	—	—
6. ロゴ掲載 （告知サイト・配信プラットフォーム・ クロージングイベント会場）	○	○	○	○

Diamond



Platinum



Gold



Silver





Cloud Operator Days Tokyo
2023 オンデマンドセッション...



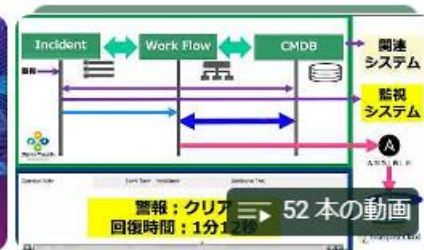
Cloud Operator Days Tokyo
2022 オンデマンドセッション...



Cloud Operator Days Tokyo
2022 クロージングイベント



Cloud Operator Days Tokyo
2022 プレイベント



Cloud Operator Days Tokyo
2021 オンデマンドセッション...



Cloud Operator Days Tokyo
2021 ライブイベント



Cloud Operator Days Tokyo
2020

[CODT 2020-2023 セッションアーカイブ](#)

お申込みとお問い合わせ

申込方法

<https://forms.gle/KPYXLUUkEnZRAcsq8>

CODT2024協賛申込フォームよりお申込みください。

一次申込締切

2024年5月31日(金) 締切に間に合わない場合は別途ご相談ください。

協賛金のご請求

申し込み受付後、ご請求書を電子データで送付させていただきます。(原本をご希望の場合はお知らせください。)請求書発行月の翌月末にご入金を頂けますようお願い致します。尚、振り込み期日等希望がございましたら、事前にご相談ください。

その他ご質問等ございましたら、下記連絡先までご連絡ください。

Cloud Operator Days Tokyo 2024 運営事務局

株式会社イーサイド内

担当: イベント事業部 宮本、西島、Scott Macdonald

Tel: 03-6435-8789 Fax: 03-6435-8790

email: codt2024-office@e-side.co.jp

協賛規約

■規約の履行

本イベントにご協賛いただく企業・団体等(以下協賛者という)は、以下に記載する各規定に記載する各規定を遵守しなくてはなりません。これらに違反した場合、もしくは第三者への迷惑行為、公序良俗に反する行為があると主催者が判断した場合、主催者は協賛申込の拒否、協賛契約の解約、講演の中止・変更の指示を、それぞれ行うことができます。その際、協賛者から事前に支払われた費用の返還は行いません。また、協賛契約の解約、講演の中止・変更によって生じた協賛者および関係者の損害について、主催者は一切補償しないとともに、主催者に損害があった場合には、協賛者にその全額を賠償していただきます。

■協賛資格

協賛者は、主催者が定める本イベントの主旨に沿う製品、サービス等を提供する企業・団体その他の事業体に限定され、主催者は製品、サービス等が、本イベント主旨に合致するか否かを決定する権利を有します。

■協賛契約の成立

協賛者が協賛申込書を提出し、主催者がそれを受理した日をもって、協賛契約の成立とします。

■協賛料金の支払

協賛者は、請求書に記載された期限までに、請求された協賛料金全額を主催者の指定する銀行口座へ振り込むものとします。支払期日までに協賛料金のお振り込みが確認できない場合は、協賛契約は解約となります。この際に、主催者に損害が発生した場合は、協賛者はその全損害を賠償するものとします。

■協賛契約の解約

協賛者が協賛契約成立後にその全部または一部を解約する場合は、必ず文書にて行わなければなりません。その際、協賛者には下記の解約料をお支払いいただきます。

・2024年5月31日(金)までは協賛料金の30%、

・2024年6月3日(月)以降は協賛料全額をお支払いいただきます。

解約料を超える損害が主催者に発生する場合には、別途その損害を賠償していただきます。・解約料は、請求書に記載された期限までに指定銀行口座へお振り込みください。

■転貸の禁止

協賛者は主催者の許可なく、講演枠、広告枠、出展ブースの全部または一部を他社へ譲渡、貸与等(譲渡料、貸与料等の有無を問わず)を行うことはできません。

■イベントの中止

主催者は、都合により、いつでもイベントを中止することができるものとします。中止になった際は、主催者は協賛者に対して、開催残余日数等を基準として、主催者が相当と認める額を払い戻しますが、それ以外に関しては、一切の責任を負いません。主催者の都合以外の理由によって、イベントの全部または一部が中止になった場合(主催者が中止せざるを得ないと判断した場合を含みます)、主催者は、協賛者に対し、一切の責任を負いません。

■損害賠償責任

協賛者及びその関係者が、会場使用にともなう人身及び財物の傷害、損害等を受けた場合、主催者は、理由の如何を問わず、一切の責任を負いません。また、協賛者は、その従業員、代理人、関係者の故意、過失または無過失によって、会場の施設及びその設備等や、第三者の人身・財物に与えた一切の損害について、ただちにその損害を賠償しなければなりません。主催者が、これらの損害の賠償請求を受けた場合、協賛者は、自らの責任で、その支払いを行うとともに、主催者に損害が生じた場合には、弁護士に支払った着手金・報酬金等も含め、その全額を速やかに、主催者に支払うものとします。主催者は本イベントにおける一切の制作物の中に生じた誤字、脱字等に関する責任は負わないものとします。

■個人情報の取り扱い

協賛者は、本イベントを通じて個人情報を取得する場合、個人情報保護法および関連法令を遵守し、適法かつ適切な取得をおこなう必要があります。利用目的は必ず公表・通知し、その範囲内で利用しなければなりません。また取得した個人情報は、協賛者が責任をもって管理・運用するものとします。万一、来場者に損害が生じた場合、協賛者が全責任を負うとともに、自ら責任を持って紛争を解決するものとします。

※主催者の個人情報取得に関する説明は、下記をご参照ください。

Cloud Operator Days Tokyo プライバシーポリシー

<https://cloudopsdays.com/privacy-policy/>

なお、運営等の委託会社には業務上の理由で協賛者の情報を提供いたしますが、ご了承ください。